

第六次白石市総合計画に係る成果指標の見直しについて

本市では、令和２年度に「第六次白石市総合計画」を策定し、令和３年度から令和１２年度の１０年間を計画期間として様々な市の施策を推進しています。

総合計画には、６つの分野目標に基づく２９の施策項目を設定するとともに、分野横断的な取り組みについて４つの重点戦略を設定しています。総合計画については、計画に掲げる目標の実現に向けた取組状況について、毎年度その進捗状況と成果の検証を確認するため、重点戦略及び施策項目について、目標値と成果指標を設定しています。

計画策定から５年が経過しましたが、急激な少子高齢化の進行やDXの進展など社会・経済の急激な変化、また、それに伴う法律・制度の改正などがあったことにより、当初設定した指標について、目標値との乖離が大きいものや、設定した指標について法律・制度改正があったことなどにより指標の見直しが必要となりました。

そのため、設定した指標のうち、下記の指標について、今般見直しを実施いたします。

見直した指標も含め、今後、進捗状況や成果を検証しながら、令和１２年度の目標達成に向けて、事業を推進してまいります。

■重点戦略３ まちの魅力づくり戦略

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	本市に住み続けたい（ずっと住み続けたい）と思う割合	27%	6.2%	26.1%	23.2%	28.3%	35%	40%	本市に住み続けたいと思う割合については、総合計画及び総合戦略のどちらにも成果指標として設定しているが、集計する項目に相違があり、双方の計画を一体的に推進していくことから、市民アンケートの回答項目及び目標値を同じものとするため、指標を見直した。	未来戦略課
見直し内容	⇒「本市に住み続けたい（ずっと住み続けたい、 <u>当分は住み続けたい</u> ）と思う割合」に指標を見直し、令和12年度の目標値を「70%」とします。									
見直し後	本市に住み続けたい（ずっと住み続けたい、 <u>当分は住み続けたい</u> ）と思う割合	59%	33.2%	59.8%	60.9%	63.5%	－	<u>70%</u>		

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	市外からの移住世帯数（定住促進事業申請者）	39世帯	38世帯	33世帯	36世帯	23世帯	60世帯	80世帯	国土交通省が公開している「新設住宅着工戸数の調査データ」によると、2006年度から減少傾向が続いており、直近のデータでは2006年度の2/3まで減少している状況である。また、新設住宅着工戸数の減少は、今後も続く予想されており、2040年度には、2006年度の1/2まで減少することが見込まれている。本市の実績についても、これまでの状況では中間目標値まで届いていないため、今後の状況も勘案し、令和12年度の目標値を、中間目標値と同じ60世帯に見直す。	まちづくり推進課
見直し内容	⇒令和12年度の目標値を「 <u>60世帯</u> 」に見直します。									
見直し後	市外からの移住世帯数（定住促進事業申請者）	39世帯	38世帯	33世帯	36世帯	23世帯	60世帯	<u>60世帯</u>		

■重点戦略4 輝く未来地図戦略

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	働く場の創出（企業誘致による従業員増加数）	—	0人	0人	0人	0人	R3～R7 20人分	R8～R12 30人分	企業誘致のほか、増設等に伴う従業員数を指標に加え計上することで、市内で働く場が創出された状況を計画に反映し、より一層の働く場の創出につなげるため。	都市創造課
見直し内容	⇒「働く場の創出（企業誘致・ <u>増設等</u> による従業員増加数）」に指標を見直します。									
見直し後	働く場の創出（企業誘致・増設等による従業員増加数）	—	0人	0人	0人	8人	R3～R7 20人分	R8～R12 30人分		

1-2 地域・家庭の教育力の向上

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	学校支援ボランティア活動回数	1,174回	1,133回	1,209回	627回	927回	1,237回	1,291回	学校支援ボランティア活動がコロナ前の水準に戻っていないことや、少子化に伴う児童数減少により学校からのボランティア要請が減少したこと、ボランティアの高齢化による人材不足などで活動回数が減少しており、実績値と中間値・目標値に大きな乖離があることから、現状値(R1)の水準を超えることを最終目標とするため。	生涯学習課
見直し内容	⇒令和12年度の目標値を「 <u>1,180回</u> 」に見直します。									
見直し後	学校支援ボランティア活動回数	1,174回	1,133回	1,209回	627回	927回	1,237回	<u>1,180回</u>		

1-3 生涯学習・スポーツの推進

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	スポーツ少年団加入率	13.70%	12.22%	12.96%	11.90%	12.20%	14.00%	14.20%	スポーツに取り組む子どものみを対象とした従来の指標ではなく、広く生涯学習活動、スポーツ活動、地域活動に取り組む市民を対象とした指標とするため。 なお、目標値については、令和12年度の人口推計を基に、現在の公民館利用率から算出した。	生涯学習課
見直し内容	⇒「 <u>公民館利用者数</u> 」に指標を見直し、令和12年度の目標値を「 <u>73,000人</u> 」とします。									
見直し後	<u>公民館利用者数</u>	97,298人	48,066人	63,383人	74,355人	77,603人	—	<u>73,000人</u>		

Ⅰ-4 歴史遺産・伝統文化の継承と活用

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	ワークショップ・講座などの開催回数	0回	12回	12回	5回	5回	6回	10回	講座の回数は、一旦終了すると、次期講座の開始まで一時的に回数が減少に転じてしまうなど、不安定な指標となることから、講座や講演会等の内容を評価する（満足度）指標に見直すため。	生涯学習課
見直し内容	⇒「 <u>講演会開催等による満足度（講演会のアンケートで参加者が満足と答えた割合）</u> 」に指標を見直し、令和12年度の目標値を「 <u>40%</u> 」とします。									
見直し後	<u>講演会開催等による満足度（講演会のアンケートで参加者が満足と答えた割合）</u>	—	—	—	—	—	—	<u>40%</u>		

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	地域の歴史文化を紹介する講演会の開催回数	3回	2回	3回	2回	2回	3回	3回	講演会のイベントに限らず、企画展を開催するなど、様々な世代に、様々な形で白石の歴史文化を紹介する機会を設け、講演会に限らず、企画展の開催等にも注力するため。	生涯学習課
見直し内容	⇒「地域の歴史文化を紹介する講演会、 <u>企画展</u> の開催回数」に指標を見直します。									
見直し後	地域の歴史文化を紹介する講演会、 <u>企画展</u> の開催回数	3回	2回	3回	4回	3回	－	3回		

2-4 市民と行政の情報の共有化

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	市ホームページの閲覧数	639,171件	713,068件	598,476件	577,257件	658,126件	719,000件	794,000件	市ホームページは依然として重要な情報取得のツールであるものの、現在は様々なSNSの普及や利用者の増加等により、情報取得の方法が多様化している。今後もHPに限らず、市公式SNSなどの様々な媒体で情報発信を強化していくため。	総務課
見直し内容	⇒ 令和12年度の目標値を「 <u>650,000件</u> 」に見直します。									
見直し後	市ホームページの閲覧数	639,171件	713,068件	598,476件	577,257件	658,126件	719,000件	<u>650,000件</u>		

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	LINE、Facebook の友だち数	2,171件	5,699件	6,093件	6,377件	6,645件	6,800件	10,800件	現在、市公式SNSアカウントとしてLINE、Facebook、Instagram、YouTubeを運用し、各媒体で様々な情報発信を行っている。また、情報発信力強化元年に位置付けた令和6年度に取り組んだ「SNS情報発信力強化業務委託事業」の効果もあり、特にInstagramのフォロワーが増加していることから今後もSNS研修等を実施し、Instagram、YouTubeを含めた情報発信力を向上させていくため。	総務課
見直し内容	⇒「 <u>公式SNSアカウントの総ともだち数、フォロワー数（LINE、Facebook、Instagram、YouTube）</u> 」に指標を見直し、令和12年度の目標値を「 <u>12,200件</u> 」とします。									
見直し後	<u>公式SNSアカウントの総ともだち数、フォロワー数（LINE、Facebook、Instagram、YouTube）</u>	2,530件	6,345件	6,845件	7,403件	8,078件	—	<u>12,200件</u>		

2-5 持続可能な行財政運営

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	実質公債費比率	6.1%	3.0%	2.8%	3.7%	5.5%	6.0%	6.0%	今後の見通しとしては、 ・老朽化している公共施設の更新・長寿命化など、大規模な公共事業を実施する予定であること ・一部事務組合でも、消防施設整備を予定しており、他団体に対する公債費負担も増加する見込みであること	財政課
見直し内容	⇒ 令和12年度の目標値を「 <u>8.6%</u> 」に見直します。								・病院事業について、令和5年度から市の病院事業となり、公債費のすべてが本市の負担となったこと ということで、公債費の増加が見込まれており、当初計画とは大きく状況が変化している。 しかしながら、大型の公共事業を進めるにあたって、地方債は大変重要な財源であり、活用なくしては今後の事業を進めることができないものと考えている。そのため、現在の目標値から設定を上昇させる必要があると考える。	
見直し後	実質公債費比率	6.1%	3.0%	2.8%	3.7%	5.5%	6.0%	<u>8.6%</u>	このことを考慮しながらも、標準財政規模に対する公債費を抑える必要があることから、目標値を類似団体の過去5年の平均値とする必要があるため。	

3-1 地域福祉の推進

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	地域包括ケアシステムの構築	未構築	構築	構築	構築	構築	構築	構築		
見直し内容	⇒ 『「精神障害にも対応した地域包括ケア（にも包括）」のための保健・医療・福祉担当者による協議の開催（年間開催数）』に指標を見直し、令和12年度の目標値を「 <u>3回</u> 」とします。								増加傾向にある精神障害にも対応した地域包括ケアのため、担当者による協議を定期的実施する体制構築の必要があるため。	福祉課
見直し後	「精神障害にも対応した地域包括ケア（にも包括）」のための保健・医療・福祉担当者による協議の開催（年間開催回数）	—	—	—	1回	1回	—	<u>3回</u>		

3-4 障がい者福祉の充実

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	成年後見制度利用数	0人	0人	2人	0人	0人	1人	2人	庁内連携による権利擁護の中核機関である「権利擁護サポートセンター」や仙南2市7町が委託により地域生活支援拠点が設置されたことにより、当初の目標は達成した。今後は、増加傾向にある精神障害にも対応した地域包括ケアのため、担当者による協議を定期的実施する体制構築が必要なことから、新たに指標を設定する。	福祉課
見直し前	地域生活支援拠点の整備	未整備	整備	整備	整備	整備	整備	整備		
見直し内容	⇒ 『「精神障害にも対応した地域包括ケア（にも包括）」のための保健・医療・福祉担当者による協議の開催（年間開催数）』に指標を見直し、令和12年度の目標値を「 <u>3回</u> 」とします。									
見直し後	「精神障害にも対応した地域包括ケア（にも包括）」のための保健・医療・福祉担当者による協議の開催（年間開催回数）	—	—	—	1回	1回	—	3回		

3-5 地域医療体制の充実と健康づくりの推進

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課		
見直し前	がん検診受診率（胃がん）	17.0%	18.2%	17.1%	16.8%	17.1%	40.0%	50.0%	令和6年度に策定した「第3次健康プラン21」と目標値を整合させるため。	健康推進課		
	がん検診受診率（肺がん）	32.8%	33.0%	31.9%	33.0%	33.3%	40.0%	50.0%				
	がん検診受診率（大腸がん）	30.9%	32.2%	30.2%	31.1%	32.1%	40.0%	50.0%				
	がん検診受診率（子宮頸がん）	28.7%	33.1%	31.7%	32.0%	33.0%	40.0%	50.0%				
	がん検診受診率（乳がん）	37.5%	37.2%	36.5%	36.1%	30.7%	40.0%	50.0%				
	がん検診受診率（前立腺がん）	34.1%	36.2%	34.1%	35.1%	35.3%	40.0%	50.0%				
見直し内容	⇒ 令和12年度の目標値を、それぞれの検診項目について下記の通り見直します。											
見直し後	がん検診受診率（胃がん）	17.0%	18.2%	17.1%	16.8%	17.1%	40.0%	<u>18.0%</u>				
	がん検診受診率（肺がん）	32.8%	33.0%	31.9%	33.0%	33.3%	40.0%	<u>35.0%</u>				
	がん検診受診率（大腸がん）	30.9%	32.2%	30.2%	31.1%	32.1%	40.0%	<u>32.0%</u>				
	がん検診受診率（子宮頸がん）	28.7%	33.1%	31.7%	32.0%	33.0%	40.0%	<u>33.0%</u>				
	がん検診受診率（乳がん）	37.5%	37.2%	36.5%	36.1%	30.7%	40.0%	<u>37.0%</u>				
	がん検診受診率（前立腺がん）	34.1%	36.2%	34.1%	35.1%	35.3%	40.0%	<u>36.0%</u>				

4-1 防災・減災対策の充実

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	総合防災訓練参加者数	3,687人	311人	1,300人	2,148人	5,284人	4,200人	5,000人	本市の総合防災訓練の参加者数は、コロナ後、市内小中学生全員が授業日として参加していることもあり増加しているが、総合計画策定当時に比べて人口減少が加速していることから、防災施策推進を図る適切な指標として、参加人数から参加率に変更する必要があるため。	危機管理課
見直し内容	⇒ 「 <u>総合防災訓練への16歳以上の参加率（16歳以上の人口比）</u> 」に指標を見直し、令和12年度の目標値を「 <u>13.00%</u> 」とします。									
見直し後	<u>総合防災訓練への16歳以上の参加率（16歳以上の人口比）</u>	10.56%	3.95%	4.49%	11.87%	11.50%	—	<u>13.00%</u>		

4-2 交通安全・防犯対策の充実

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	交通安全教室の実施回数（保育園、幼稚園、小学校、中学校）	23回	26回	28回	28回	34回	28回	36回	交通安全教室は、幼稚園・保育園・小中学校が保育計画・学校の年間スケジュールなどで年1回程度の開催としているほか、令和8年度から休園する保育園が発生したり、本市への講師派遣を不要としている園・学校があったりすることから、開催回数の目標値を変更するとともに、開催回数以外の指標を設定する必要があるため。 参考：令和7年中の件数は27件	危機管理課
見直し内容	⇒ 「 <u>人身事故件数</u> 」に指標を見直し、令和12年度の目標値を「 <u>25件以下</u> 」とします。									
見直し後	<u>人身事故件数</u>	60件	40件	31件	30件	25件	－	<u>25件以下</u>		

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	防犯実働隊の隊員数	148人	148人	146人	139人	134人	165人	200人	防犯実働隊員は、自治会や各地区の防犯担当者が担っていることが多く、高齢化と若年隊員の不足によって担い手不足が深刻となっており、隊員数の目標値を変更するとともに、隊員数以外の指標を設定する必要があるため。	危機管理課
見直し内容	⇒ 「 <u>地域幸福度（Well-being）指標における「防犯対策が整っており、治安が良い」に対し「とてもそう思う、どちらかというと思う」と考えている市民の割合</u>									
見直し後	地域幸福度（Well-being）指標における「 <u>防犯対策が整っており、治安が良い</u> 」に対し「とてもそう思う、どちらかというと思う」と考えている市民の割合	—	—	—	—	31.0% (令和7年度)	—	<u>34.1%</u>		

5-1 農林業の振興

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度取得者数	3人	10人	10人	10人	10人	6人	10人	計画策定時、環境負荷低減の取り組みを評価できる制度は、県認定のみであったが、法改正により、国認定の制度が新設されたため、新たに指標を設定する。	農林課
見直し内容	⇒ 「 <u>環境負荷低減に取り組む農業者数（累計）</u> 」に指標を見直し、令和12年度の目標値を「 <u>30人</u> 」とします。									
見直し後	<u>環境負荷低減に取り組む農業者数（累計）</u>	3人	10人	10人	10人	10人	－	<u>30人</u>		

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	人・農地プランの実質化	30%	100%	100%	100%	100%	60%	80%	法改正による制度変更により、人・農地プランから地域計画に変更となったため。	農林課
見直し内容	⇒ 「 <u>地域計画の目標地図完成度</u> 」に指標を見直し、令和12年度の目標値を「 <u>80%</u> 」とします。									
見直し後	<u>地域計画の目標地図完成度</u>	0%	0%	0%	0%	33%	－	<u>80%</u>		

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	新規就農者数（人/年）	1人	4人	14人	5人	1人	2人	3人	新規就農者数は、雇用就農先の情勢や新規就農に関する国の制度改正等に左右されやすく、単年ごとの数値が変動しやすいことから、期間全体の指標に見直すため。	農林課
見直し内容	⇒ 「 <u>新規就農者数（累計）</u> 」に指標を見直し、令和12年度の目標値を「 <u>60人</u> 」とします。									
見直し後	<u>新規就農者数（累計）</u>	1人	10人	24人	29人	30人	－	<u>60人</u>		

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	認定農業者数（累計）	74人	65人	67人	66人	66人	84人	86人	認定農業者数は、高齢化等の要因で減少傾向にあることから、新たな地域農業の担い手となる新規認定農業者の確保が必要であるため。	農林課
見直し内容	⇒ 「 <u>新規認定農業者数（累計）</u> 」に指標を見直し、令和12年度の目標値を「 <u>24人</u> 」とします。									
見直し後	<u>新規認定農業者数（累計）</u>	2人	7人	9人	9人	9人	－	<u>24人</u>		

5-2 商工業の振興

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	目標年次までの新規立地企業数 (累計)	0件	0件	0件	0件	0件	5件	10件	企業誘致のほか、増設等に伴う企業数を増やすことで、より一層の商工業の振興につなげるため。	都市創造課
見直し内容	⇒ 「 <u>目標年次までの新規立地及び増設等企業数（累計）</u> 」に指標を見直し、令和12年度の目標値を「 <u>10件</u> 」とします。									
見直し後	<u>目標年次までの新規立地及び増設等企業数（累計）</u>	0件	0件	0件	1件	1件	－	<u>10件</u>		

6-4 魅力ある都市空間の整備

	指標	現状値 (R1)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	中間目標値 (R7)	目標値 (R12)	見直しの理由	担当課
見直し前	都市公園施設の長寿命化の推進率 (第1期：平成27年度～令和6年度)	78%	78%	79%	82%	74%	80%	100%	令和6年度に「公園施設長寿命化計画」の改定を行い、令和7年度から改定した長寿命化計画に基づき、順次公園施設の改修を行う。長寿命化計画で位置付けられた公園施設のうち、機能創造型及び機能改修型公園で健全度判定がA及びBの公園施設を547施設から688施設にするため、目標値の変更を行った。 A・・・良好 B・・・経過観察 C・・・補修・更新が必要 D・・・更新が必要	都市創造課
見直し内容	⇒ 「 <u>都市公園施設の長寿化施設数</u> 」に指標を見直し、令和12年度の目標値を「 <u>688施設</u> 」とします。									
見直し後	<u>都市公園施設の長寿命化施設数</u> (第1期：平成27年度～令和6年度) (第2期：令和7年度～令和16年度)	527施設	532施設	540施設	544施設	547施設	—	<u>688施設</u>		